

『伝統ゲーム大事典』正誤表

2020.3 朝倉書店

口絵「貝覆い」

(→p. 12) → (→p. 112)

p. 7 「折り端」

左段「解説」に以下の文を追加
南北朝時代に書かれたとされる『新撰遊覚往来』に下半として登場するのが初出。室町時代の往来物には「下胎」と書かれ、江戸時代にも遊ばれた記録がある。石の数は12のものと15のものがあるが、ここでは15のほうを採っている。

p. 13 「ケララ」

右段7行目

「ゲームの進行」小見出しを削除。以下の箇条書き番号を1~4→3~6に
右段18行目

p. 18 「パチシ」

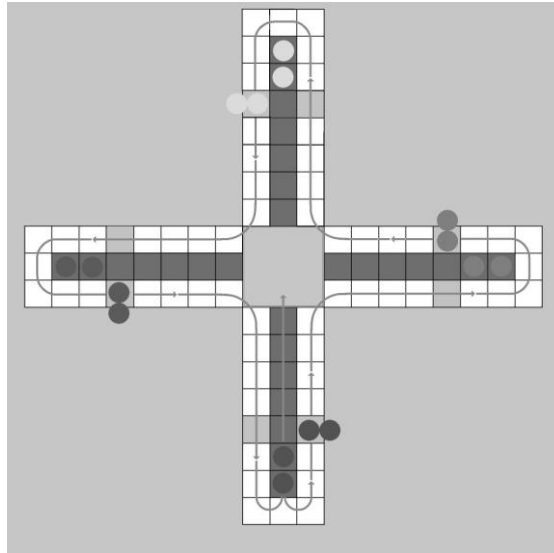
自分の駒5個すべてに内部 → 自分の駒5個がすべて中央に

左段「使用するもの」

サイコロ 2個または6個 → サイコロ 4面2個または2面6個

左段図「パチシの盤」

下図に差し替え

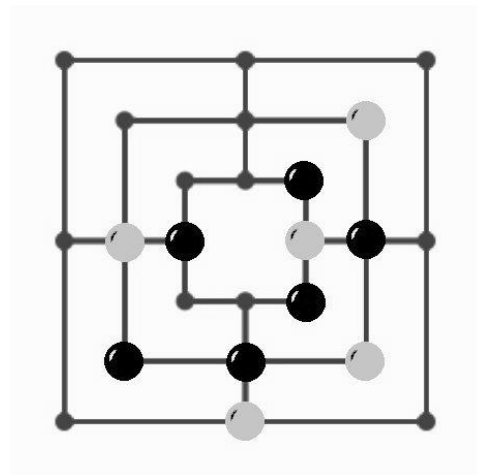


パチシの盤 (●は駒の初期位置, 矢印は進行方向)

p. 36 「サイン・メンズ・モリス」

右段下図

下図に差し替え



途中図の例

- p. 86 「ブランドゥブ」 左段図の説明
○守備 ●攻撃者 → ○守備兵 ●攻撃側
- p. 98 「ゴニンカン」 左段「解説」を追加
解説
青森県で五所川原市を中心に行われているトランプの遊び方。明治時代に行われた絵取りを少し変えたもの。県内数か所で大会が行われている。
- p. 114 「坊主めぐり」 左段「解説」を追加
解説
小倉百人一首札の読み札のみを使う遊び。文字を読まないで、字の読めない子どもでも遊ぶことができた。蟬丸のみ帽子（もうす）を被っていることが多いので、蟬丸には特殊な役をつけることもあった。例えば「蟬丸が出たら全員札を中央に出す」「蟬丸を引いたら一回休み」などである。
- p. 137 「旗源平」 右段「サイコロの目と囃し言葉と旗の数
3-4 ニサマノカンカンド → 3-4 シサマノカンカンド
3-5 ニサマノカンカンド → 3-5 ゴサマノカンカンド
- p. 148 「ハーツ」 右段「バリエーション」2行目
それまで点数が → それまでの点数が
- p. 238 「聞香」 右段 17行目
十種香（じゅっしゅこう） → 十種香（じっしゅこう）
- p. 256 「お花独楽」 左段「解説」10行目
『蚊不食呪詛曾我』 → 『蚊不喰呪詛曾我』